



現千葉県議会 副議長



岡村 やすあき

暮らしやすく、安全で効率の高い、生活基盤の整備と充実に努めます。

安全 1 防災と地域

大規模地震発生予想と増加する風水害災害

国の防災関係の機関では、今後三〇年の間に南関東地域において、マグニチュード7程度の大規模な地震が七十%の確立で発生すると予測しています。平成十九年度の被害想定調査では、建物の倒壊や火災などの被害をはじめ、死傷者の発生など甚大な被害を想定しています。

また、地球温暖化などの影響により、台風が強大化すると共に、局地的な集中豪雨の頻度が増え、風水害や土砂災害が増加することが懸念されています。

災害時の救助体制と、地域防災体制の構築

阪神大震災や以後の災害において、地域の助け合いによる救助は、公的機関の五〜六倍にも上がったというデータがあります。(県消防地震防災課調べ) 災害時の救助体制には、自助・共助(地域)・公助(公的機関)などがあります。これからは、公的機関の防災

施策を強化すると共に、地域における共助(助け合い)や、ボランティアによる支援の取り組みなどの体制づくりを促進する必要があります。

四街道市においては、平成十八年、四街道高校を主会場として、八都県市合同防災訓練が行われ、約四千名の市民が参加しました。参加者から、「災害時の困難さが実感できた。地域の連帯・助け合いの大切さが分かった。」という意見が述べられました。

私は、災害から市民を守るため、次の防災施策を推進いたします。ライフラインや学校等の公共施設や、公的機関の耐震性や防災性を強化することに努めます。特に、学校については、子どもの安全確保と共に、災害時の拠点ともなるので、早期に整備しなければなりません。

防災の広域化を進め、消防・救急救助体制の充実強化を推進いたします。また、地域の連帯感と連帯・助け合いの度合いを高めるために、地域消防団や各自治会と共に、地域の自主防災組織の組織化を進めます。

安全・生活基盤整備に関する重点目標

- ・ 防災対策の強化、災害救助対策の強化などのより、災害から市民を守るための施策を推進します。
- ・ 犯罪の起こりにくい、犯罪を起こさせない環境の整備に努めます。
- ・ 警察署・交番や、地域住民・防犯ボランティアなどと協働した活動を積極的に行い、防犯ネットワークの構築を図ります。
- ・ J R 総武線の快速増発と快速の終電時刻の繰り下げに努めます。また、バスの利便性向上等、通勤通学対策に取り組みます。
- ・ 国道51号線の早期拡幅や県道の着実な整備で、渋滞解消と道路交通の安全性と利便性を高めます。

